

ねらい

我が国は人口減少時代を迎えているが、これまで成長を支えてきた労働者が減少しても、トラックの積載率が5割を切る状況や道路移動時間の約4割が渋滞損失である状況の改善など、労働者の減少を上回る生産性を向上させることで、経済成長の実現が可能。

そのため、本年を「**生産性革命元年**」とし、省を挙げて**生産性革命に取り組む**。

経済成長 ← 生産性 + 労働者等

労働者の減少を上回る生産性の上昇が必要

3つの切り口

「**社会のベース**」の生産性を
高めるプロジェクト

「**産業別**」の生産性を
高めるプロジェクト

「**未来型**」投資・新技術で
生産性を高めるプロジェクト

プロジェクトの候補例

(1) 「**社会のベース**」の生産性を高めるプロジェクト

- ピンポイント渋滞対策 ～渋滞解消で労働力の創出～
- 渋滞をなくす賢い料金
- クルーズ船需要の取込み

(2) 「**産業別**」の生産性を高めるプロジェクト

- 本格的なi-Constructionへの転換
- オールジャパンで取り組む「物流生産性革命」の推進
- 新たな住宅循環システムの構築と住生活産業の成長

(3) 「**未来型**」投資・新技術で生産性を高めるプロジェクト

- 急所を特定する科学的な道路交通安全対策
- 自動運転技術、ドローンの活用